



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 川辺株式会社

上場取引所 東

コード番号 8123 URL <https://www.kawabe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 将之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長 (氏名) 有田 二郎

TEL 03-3352-7110

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,680	19.4	154		126		143	
2022年3月期第1四半期	2,244	3.5	243		226		214	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 54百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 212百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	78.67	
2022年3月期第1四半期	117.67	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	12,003	6,021	50.2
2022年3月期	12,299	6,076	49.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 6,021百万円 2022年3月期 6,076百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,880	19.4	110		190		82		44.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,861,000 株	2022年3月期	1,861,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	35,365 株	2022年3月期	35,365 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,825,635 株	2022年3月期1Q	1,825,671 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(収益認識基準) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)における国内経済は、ロシアのウクライナ侵攻が起点となり、更なる資源価格の高騰、物流の混乱、円安進行による景気への悪影響が懸念される一方で、新型コロナウイルス感染者数の減少や緊急事態宣言等の行動制限解除等により消費市場が緩やかな回復基調に転じたことで、過去2年以上に亘る景気停滞から少しずつ上向きに推移しました。

当社グループの主要販路である百貨店・直営店舗においても、行動制限解除を背景として外出機運や消費意欲が高まり入店客数も増加し、特にゴールデンウィーク商戦とクリアランスセールにおいては、一部の店舗においてコロナ禍前の売上高に近づくなど、市況は徐々に回復基調に転じました。

このような状況下、当社グループにおいては、当連結会計年度の重点課題として掲げている新規販路の開拓、EC事業の拡大、収益の改善、マーケティング活動・広報活動強化、SDGsの施策を更に推進し、引き続き新型コロナウイルス感染対策の取り組みも継続しながら積極的に営業活動を進めてまいりました。

また事業継続の観点から、在庫の適正化、経費削減、投資の見直し等に取り組み、円安傾向が進むことを前提とした為替予約の活用や商品価格の見直し等を行い、原価抑制にも努めてまいりました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高26億80百万円(前年同期比119.4%)、営業損失1億54百万円(前年同期営業損失2億43百万円)、経常損失1億26百万円(前年同期経常損失2億26百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億43百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失2億14百万円)となり、前連結会計年度の業績から大きく改善をいたしました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

## 身の回り品事業

身の回り品事業全体として当連結会計年度におきましては、新型コロナウイルス感染者減少に伴いリアル店舗における消費は回復基調で推移いたしました。

ハンカチーフにつきましては、ギフトニーズの全面的な回復には至らなかったものの、新規取引先の開発による新しい売上进行を構築できた結果等もあり前年比107.2%となりました。

スカーフ・マフラーにつきましては、スカーフ市場の繁忙期でもある母の日需要を取り込むことができたことや、当社におけるスカーフカテゴリーに分類される新アイテム「ニコライバークマンブランドの晴雨兼用傘」も順調に売上进行を構築した結果、前年比131.9%となりました。

タオル・雑貨につきましては、小中学校におけるプール授業再開によるラップタオルの需要が大きく売上进行を牽引いたしました。又、GMSの店頭、EC事業での売上及び当社が幹事として自主運営を行う百貨店雑貨売場6店舗における売上が順調に推移した結果、前年比149.3%となりました。

この結果、身の回り品事業での売上は、前年比116.7%の結果となりました。

## フレグランス事業

フレグランス事業につきましても、コロナ感染者数減少による市場回復から、イベントやプロモーション活動を積極的に行い、主として国内の主要都市における売上が好調に推移したことを含む全ての販売経路において、売上が好調に推移した結果、前年比137.1%となりました。

全事業といたしましては、前年同期と比べ、売上高は大幅に増加となりました。又、売上総利益の増額により営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する四半期純損益は増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期における「資産合計」は、前連結会計年度末の122億99百万円から120億3百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の減少によるものであります。

「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ2億41百万円減少し、59億81百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の減少、長期借入金の減少によるものであります。

また、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ54百万円減少し、60億21百万円となりました。

この結果、当第1四半期における総資産は、前連結会計年度末の122億99百万円から120億3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日発表の「2022年3月期 決算短信」の業績予想から変更しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,308,343	1,379,057
受取手形及び売掛金	2,052,007	1,608,174
商品及び製品	3,397,324	3,351,032
仕掛品	44,492	57,590
原材料及び貯蔵品	165,291	175,453
その他	223,539	284,425
貸倒引当金	△1,765	△2,199
流動資産合計	7,189,232	6,853,534
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	793,372	781,483
工具、器具及び備品（純額）	61,592	55,858
土地	1,099,724	1,099,724
その他（純額）	92,834	89,212
有形固定資産合計	2,047,524	2,026,279
無形固定資産	226,845	235,251
投資その他の資産		
投資有価証券	606,040	682,444
投資不動産（純額）	1,596,147	1,587,280
その他	634,010	618,874
投資その他の資産合計	2,836,199	2,888,598
固定資産合計	5,110,569	5,150,129
資産合計	12,299,801	12,003,664

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,665,968	1,874,311
短期借入金	3,011,356	2,737,119
未払法人税等	50,404	14,880
賞与引当金	12,561	9,014
その他	514,731	426,328
流動負債合計	5,255,021	5,061,654
固定負債		
長期借入金	335,189	254,374
退職給付に係る負債	434,716	438,627
資産除去債務	56,191	53,023
その他	142,571	174,034
固定負債合計	968,668	920,059
負債合計	6,223,690	5,981,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,720,500	1,720,500
資本剰余金	1,770,567	1,770,567
利益剰余金	2,689,531	2,545,893
自己株式	△54,598	△54,598
株主資本合計	6,126,000	5,982,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△60,617	8,293
繰延ヘッジ損益	△563	13,796
為替換算調整勘定	25,690	31,920
退職給付に係る調整累計額	△14,399	△14,424
その他の包括利益累計額合計	△49,889	39,586
純資産合計	6,076,111	6,021,949
負債純資産合計	12,299,801	12,003,664

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	2,244,631	2,680,483
売上原価	1,455,591	1,775,938
売上総利益	789,039	904,544
販売費及び一般管理費	1,032,713	1,059,477
営業損失(△)	△243,673	△154,933
営業外収益		
受取利息	20	11
受取配当金	3,987	4,134
投資不動産賃貸料	28,296	39,186
持分法による投資利益	503	-
その他	8,315	14,606
営業外収益合計	41,124	57,939
営業外費用		
支払利息	5,701	6,834
不動産賃貸費用	17,605	17,636
持分法による投資損失	-	3,757
その他	432	1,432
営業外費用合計	23,740	29,660
経常損失(△)	△226,289	△126,654
特別損失		
固定資産除売却損	93	-
店舗閉鎖損失	-	2,515
特別損失合計	93	2,515
税金等調整前四半期純損失(△)	△226,383	△129,170
法人税等	△11,543	14,466
四半期純損失(△)	△214,839	△143,637
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△214,839	△143,637



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△214,839	△143,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△753	68,911
繰延ヘッジ損益	△1,825	14,360
持分法適用会社に対する持分相当額	5,122	6,229
退職給付に係る調整額	△54	△24
その他の包括利益合計	2,488	89,476
四半期包括利益	△212,350	△54,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△212,350	△54,161
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	身の回り品事業	フレグランス事業	計
百貨店	839,987	94,683	934,670
量販店	385,090	4,036	389,126
専門店、小売店その他	723,102	197,731	920,834
顧客との契約から生じる収益	1,948,179	296,451	2,244,631
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,948,179	296,451	2,244,631

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	身の回り品事業	フレグランス事業	計
百貨店	1,034,295	128,460	1,162,756
量販店	483,435	4,541	487,976
専門店、小売店その他	756,267	273,483	1,029,750
顧客との契約から生じる収益	2,273,998	406,485	2,680,483
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,273,998	406,485	2,680,483

(重要な後発事象)

該当事項はありません。